

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人財団明理会 イムス太田中央総合病院
所在地	群馬県太田市東今泉町875-1
沿革	平成20年 2月 IMSグループ（板橋中央総合病院グループ）に加入 平成20年 11月 PACS導入 平成21年 2月 MRI（1.5T）導入 平成22年 8月 療養病棟30床を回復期リハビリテーションへ変更 平成22年 12月 マルチスライスCT（64列）導入 平成25年 11月 地上6階建新病棟竣工 平成25年 12月 イムス太田中央総合病院へ名称変更 平成25年 12月 回復期リハビリテーション病棟を30床から55床へ変更 平成26年 4月 DPC制度 参加

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	350 床	0 床	164 床	55 床	131 床	0 床
	平均在院日数	0.0 日	19.5 日	90.5 日	571.0 日	
	病床稼働率	%	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。

将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	350 床	44 床	120 床	89 床	97 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も救急医療を中心に高度な医療を提供していくとともに、救急医療を終えた患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図る。そのために今後は回復期病床の増床を検討・計画している。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	22 科（内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌内科、漢方内科、外科、整形外科、心臓血管外科、婦人科、小児科、脳神経外科、眼科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科）
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患		在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		人間ドック等健康診断								

将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患		在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能										

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	太田記念病院	足利赤十字病院	伊勢崎市民病院
主な紹介先医療機関	太田記念病院	足利赤十字病院	伊勢崎市民病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>当院はIMSグループの北関東中核病院として他のIMSグループ病院との連携を図っており、質の高い医療を提供出来るよう目指している。</li> <li>内科、外科、循環器科、整形外科、脳神経外科を軸に、急性期医療と回復期医療と慢性期医療が密に連携を図り、全身管理を念頭に置いた総合的な診療を提供している。</li> <li>救急とリハビリテーション間のスムーズな移行を行うため、救急医療関係科医とリハビリテーション科医が、患者様の病状について情報交換する機会を設けている。</li> </ul>
特徴的な 他院への搬送体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>他院からの（または他院への）転院に伴う患者様を当院の救急車、送迎車を利用し、他院から当院へ迎え（また当院から他院へ送り）の搬送体制を整えている。</li> </ul>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者様の全身管理を念頭に置き、早期発見・早期治療を心がけており、質の高い医療を提供している。</li> <li>救急病院として、24時間365日、救急の診療及び手術に対応できる体制を整えている。</li> <li>救急の患者様の他に、軽傷な患者様に対しても迅速な対応を行うよう心がけており、地域のかかりつけ病院として幅広く対応している。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリテーションルームの増設を行い、救急医療から社会復帰の援助まで一貫した医療提供体制を構築する。</li> <li>地域の病院様及び診療所様との連携を深め、患者様にとって利便性の高い病院になるように目指す。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療はもちろんのこと、地域の患者様が必要とする医療を技術と真心をもって提供していきます。</li> <li>救急医療を終えた患者様に対しては、引き続き、リハビリテーション等の医療提供を行い、社会復帰までを一貫してサポートしていきます。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人島門会 本島総合病院
所在地	群馬県太田市西本町3-8
沿革	江戸時代初期より医業を行う 昭和16年 病院認可 昭和27年 医療法人認可 昭和40年 特定医療法人認可 平成元年 304床 総合病院認可 平成4年 340床 群馬県下総合病院初のリハビリテーション総合施設認可 平成6年 346床 平成16年 349床（一般病床289床 療養病床60床）

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	349 床	床	283 床	6 床	60 床	床
	平均在院日数	日	17.0 日	日	150.0 日	
	病床稼働率	%	35.0 %	%	67.0 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	199 床	床	146 床	2 床	51 床	150 床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	当院の状況に応じたスリム化を図ると共に、太田・館林地域の医療構想に準じた急性期病床数に転換を図っている。 地域医療に貢献するため、医師の採用、看護師の補充に努め、病床稼働率を上げていきたい。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	23 科（外科、内科、消化器外科、消化器内科、整形外科、放射線科、婦人科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、リハビリテーション科、皮膚科、小児科、麻酔科、肛門科、アレルギー科、リウマチ科、心臓血管外科、歯科口腔外科）
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	近隣開業医		
主な紹介先医療機関	太田記念病院	県立がんセンター	群馬大学附属病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な チームワーク	総合病院としての強みを生かし、院内各科の医師が連携をとり、患者様の診療要求に応えるべく医療を提供している。
特徴的な 救急体制	救急体制下に放射線技師、検査技師が常駐しているので迅速な診療が行える。また、緊急手術が行える体制も整えている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院として院内各科の医師と連携して患者様に質の高い医療を提供している。</li> <li>・救急病院として、いつでも診療及び手術に対応できる体制を整えている。</li> <li>・選ばれ、頼られる病院として地域医療に貢献できるよう対応している。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新検査機器を導入して、より質の高い医療を提供体制を整える。</li> <li>・地域の病院及び診療所との連携を深め、患者様にとって利便性の高い病院になるように目指す。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれ、頼られる病院として、地域の患者様に質の高い医療を提供していきます。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 慶仁会 城山病院
所在地	太田市飯塚町1番地
沿革	昭和55年 一般病床41床にて開院 昭和56年 救急告示病院に指定 二次救急医療を担う 昭和58年 一般病床94床へ増床 昭和62年 一般病床158床へ増床 昭和63年 一般病床204床へ増床 平成12年 一般病床156床 介護療養病床48床へ変更 平成13年 230床へ増床（一般134床 療養96床） 平成16年 一般病床86床 療養病床144床へ変更 通所リハビリテーション開設 平成31年 一般病床86床 療養病床96床 介護医療院48床へ変更

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	182 床	床	86 床	床	96 床	床
	平均在院日数	日	17.4 日	日	587.7 日	日
	病床稼働率	%	69.7 %	%	80.6 %	%



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	182 床	床	86 床	床	96 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も救急医療を中心とした急性期医療体制の提供を行うとともに、回復期のリハビリテーション機能の充実を図り、回復期病床を備える。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	16 科 ( 内、外、整形外、心臓血管外、循環器、消化器、胃腸、脳神経外、呼吸器、呼吸器外、泌尿器、放射線、麻酔、リハビリ、肛門、リウマチ )
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療	
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療	
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	太田記念病院	県立がんセンター	小磯整形クリニック
主な紹介先医療機関	太田記念病院	IMS太田中央病院	宏愛会第一病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 救急体制	救急を断らないを基本方針に、地域のための救急医療を展開しており年間救急車受入数は1,000人強に達し、地域の三次救急病院に次ぐ第2位の患者収容数となっている。
特徴的な チーム医療	当院も高齢化の例にもれず80歳以上の超高齢者の疾患が多くなりました。例えとして大腿骨頸部骨折や肺炎、心不全、癌などです。各科の連携を密にして高度な医療を提供し、早期の社会復帰に全力を尽くします。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い医療、看護、介護の提供を行っております。</li> <li>救急病院として24時間体制にて救急医療体制を整備しております。</li> <li>高齢者の長期療養の場として96床の療養病床を有しております。</li> <li>昭和大学 消化器一般外科医局との連携にて、腹腔鏡手術を積極的に行っている。</li> <li>高齢者に対する認知症外来を設置しました。</li> <li>糖尿病外来の対応力の強化を図った。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>整形外科常勤医の増加による救急医療の更なる充実、外傷の防止や手術の増加、急性期治療を終えた患者様の回復期のリハビリテーションの提供等、高度な医療体制をおすすめする。</li> <li>内科常勤医の増加により、高齢者の生活習慣病対策を積極的に展開し、特に糖尿病外来とスタッフの充実にて専門チームを構成し透析への移行防止に努める。</li> <li>昭和大学との連携にて、最新の高度医療の提供を行う。</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新病棟建設計画の下、救急医療やリハビリテーションの更なる充実を図り、高度な医療の提供を心掛け患者様の社会復帰のサポートを行います。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人社団松嶺会 富士ヶ丘病院
所在地	群馬県太田市熊野町38-81
沿革	昭和52年：富士ヶ丘病院開院 病床数88床 昭和60年：28床増床 昭和62年：医療法人社団松嶺会設立 増床39床 昭和63年：介護老人保健施設「聖寿園」開設 平成16年：32床増床（平成16年までに）計187床 平成22年：サービス付き高齢者向け住宅「松寿園」開設 平成25年：介護付有料老人ホーム「桜の里」開設 平成27年：介護老人保健施設「金山」開設 令和2年4月1日：療養型介護療養病床97床を介護医療院へ転換

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	90床	床	51床	床	39床	床
平均在院日数	日	37.0日	日	250.0日	日	
病床稼働率	%	94.0%	%	%	97.4%	%

\*1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

\*2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

\*3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	90床	床	51床	床	39床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	令和2年4月1日付けにて、療養型介護療養病床97床を介護医療院へ転換。リハビリテーションから老年期の終末期医療までをサポートして行く。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	科（内科・リハビリテーション科）
------	------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	高齢者医療・リハビリテーション				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	高齢者医療・リハビリテーション				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	太田記念病院	足利赤十字病院	イムス太田中央総合病院
主な紹介先医療機関	老人保健施設		

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 高齢者医療・介護	「永年親しんだ、この地での暮らしを続けたい」そうしたご高齢者のお手伝いをする病院です。身体機能の維持・改善を目指すリハビリも体の痛みを緩和・解消する診療も、医師・専門スタッフが連携するチーム体制で患者様ごとに個別プログラムを作成し対応しています。
特徴的な 高齢者医療・介護	同一敷地内及び近隣に、介護老人保健施設2施設・サービス付高齢者向け住宅・介護付有料老人ホーム及び特別養護老人ホームがあり、高齢者医療・介護に応えます

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	富士ヶ丘病院は、昭和52年の開設以来、ご高齢者の方々の専門病院として、主にリハビリテーションを中心に医療及び介護に取り組んでまいりました。介護が必要な状態になった時に一人ひとりが必要な介護サービスを総合的に受けられるよう、万全の体制を整えております。
当院の未来像	介護療養病床から介護医療院へと転換をし、今後も終末期医療に取り組んで参ります。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	良好な環境の中で、患者様やご家族様との信頼関係を大切にしながら、充実した医療・看護・介護サービスの提供を心掛け、より一層信頼される地域に密着した病院としてサポートしていきます。



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人宏愛会宏愛会第一病院
所在地	群馬県太田市六千石町99-63
沿革	平成13年6月1日 一般病床83床 療養病床40床 開院（計123床） 平成26年6月1日 地域包括ケア病床へ変更（20床） 平成28年9月1日 地域包括ケア病床増床（40床） 平成31年4月1日 地域包括ケア病床をさらに増床（計83床）

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	123 床	床	43 床	80 床	床	床
平均在院日数	日	41.6 日	65.8 日	日	日	
病床稼働率	%	88.8 %	91.2 %	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	123 床	床	43 床	80 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域包括ケアシステムに対応した医療体制を整備していく
-------------------	----------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	5 科（内科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科）
------	------------------------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	篠原クリニック	太田記念病院	伊勢崎市民病院
主な紹介先医療機関	篠原クリニック	太田記念病院	

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 回復期リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝たきり予防と日常生活動作、QOLの向上や家庭復帰を目指してリハビリを行う病棟です。</li> <li>・リハビリテーション治療計画を立て、訓練室だけでなく、病棟という生活の場で、障害に合わせた訓練も行います。また、退院しても安心できるように、患者様の体の状態に合わせた家屋改善のアドバイスや、相談員による介護サービスの相談にも対応しています。</li> </ul>
特徴的な 地域包括ケア病棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期の治療が終了したものの、ご自宅またはご施設等での生活が不安な患者様に対して、在宅復帰を目指しての医療管理、治療、リハビリ等を目的とした病棟です。</li> <li>・また、ご自宅等で、急性期ではないものの、一時的に入院治療が必要な患者様に対しての積極的な受け入れを行っている病棟です</li> </ul>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>現在の病床数：地域包括ケア病床：83床 回復期リハビリテーション病床：40床</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムに対応できる病院を目指し、病院運営を行っています。</li> </ul>
当院の未来像	<p>地域包括ケア病床を83床へと拡大したため、幅広いニーズに応えられるようさらに体制を整備していきます。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりによる地域社会への貢献 医療は時代とともに変化を続けていますが、どんな時代にあっても私たちは最良の医療と、心休まる暖かい看護・介護を実現すべく、常に患者様とより良い関係を築きながら地域社会に貢献してまいりました。 これからも信頼を第一に、真心のこもった診療をモットーとして歩んでいきたいと思えます。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人三省会 堀江病院
所在地	群馬県太田市高林東町1800
沿革	昭和28年 診療所開設 昭和37年 一般病床(急性期)50床にて開院、救急病院の告示(県知事) 昭和42年 85床(急性期) 昭和51年 141床(急性期) 昭和59年 192床(急性期) 平成2年 182床(急性期) 平成7年 186床(急性期) 平成14年 医療型療養病床稼働開始153床(急性期)、35床(慢性期) 平成18年 136床(急性期)、52床(慢性期)、平成25年133床(急性期)、45床(慢性期) 平成29年 医療型療養病床を地域包括ケア病床へ変更(45床のまま回復期へ)現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	178 床	床	133 床	45 床	床	床
平均在院日数	日	19.0 日	32.9 日	日	日	
病床稼働率	%	76.5 %	85.4 %	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	178 床	床	133 床	45 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	原則現状のままと考えております。
-------------------	------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	16 科 (内科、心療内科、精神科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、婦人科、腎臓内科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、神経内科、麻酔科)
------	---

現在	がん	○	脳卒中	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	○	へき地	○	周産期	○	小児
	「その他」の具体的な機能								



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	○	へき地	○	周産期	○	小児
	「その他」の具体的な機能								

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	太田記念病院	太田南クリニック	まつだ整形外科クリニック
主な紹介先医療機関	太田記念病院	県立がんセンター	

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  法人内ネットワークが充実しています。	医療法人三省会は、急性期病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設、介護支援センター、訪問看護サービス、有料老人ホーム、地域包括支援センターを有しており充実したネットワーク体制で医療と福祉を提供しております。堀江病院はその中核をなす医療機関です。
特徴的な	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域医療を提供する事を方針としていますが、医師不足の状況にあります。医師の確保に力を入れております。
当院の未来像	
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	当院は二次救急病院として急性期医療から在宅支援に至る一貫したシステムの構築に取り組むとともに、地域への貢献を第一に考えた運営を行っております。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 穎原会 東毛敬愛病院
所在地	群馬県太田市上小林町230-1
沿革	昭和49年3月 穎原外科医院（13床） 昭和53年11月 穎原病院に名称変更（19床） 平成9年1月 医療法人穎原会 穎原病院に法人化（一般病床43床） 平成12年1月 病床変更（一般病床24床、療養病床19床） 平成12年4月 病床変更（療養病床43床） 平成14年4月 東毛敬愛病院に名称変更 平成16年10月 病床変更（療養病床48床） 平成28年6月 病床変更（一般4床、療養44床）群馬県認知症疾患医療センター指定

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	48 床	床	4 床	床	44 床	床
	平均在院日数(※1)	日	41.0 日	日	199.0 日	日
	病床稼働率(※2)	%	14.0 %	%	75.6 %	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	48 床	床	4 床	床	44 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も「同医療圏の高度急性期・急性期病院との密な連携」、及び「在宅復帰機能の強化」の2点を重視し、地域の慢性期病院としての役割を果たしていきます。 また、当院は「認知症疾患医療センター」に指定されています。地域の認知症医療の中核医療機関として病床活用を行っていきます。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	科 ( 内科、消化器科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、精神科(認知症) )
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○ 精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	○ がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	足利赤十字病院	太田記念病院	桐生厚生総合病院
主な紹介先医療機関	足利赤十字病院	太田記念病院	イムス太田中央総合病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  認知症医療体制	地域の認知症医療の中核機関である「認知症疾患医療センター」の活動、及び、行政からの委託事業「認知症初期集中支援チーム」の活動を行っています。また、地域住民向けに認知症の予防・早期受診・権利擁護・認知症に優しい地域づくりなどの啓発講演などを積極的実施しています。
特徴的な  慢性期医療体制	院長とスタッフ2名がアドバンス・ケア・プランニング研修を受講し、「人生の最終段階の意思表示を促進し、その人の望む看取り」を実践しています。また、最期の数週間を自宅で生活させてあげたいご家族への支援（在宅医療機関との連携）等、「本人や家族の事情を尊重した看取りを行う体制」を整備しています。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	高齢者医療、特に認知症医療において、地域に貢献できる機能を保持しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症医療における専門性</li> <li>・「在宅・看取り・人生の最終段階の意思表示支援」に精通した人材の育成</li> <li>・在宅復帰強化型の療養病棟の基準を目標とした、在宅への退院支援</li> <li>・認知症のために他院では治療継続できない症例の積極的な受け入れ</li> <li>・法律家と共に「認知症の方の人生の最終段階の意思表示支援」の体制を整備</li> </ul>
当院の未来像	高齢になっても、認知症になっても安心して生活でき、自身の意思表示に基づいた医療・ケアを受けられる体制づくりのため、以下を目標としています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症版アドバンスド・ケア・プランニング」の確立</li> <li>・認知症の合併症に、より高度に対応できる医療体制の実現（例えば悪性腫瘍の治療、整形外科疾患の術後など）</li> <li>・在宅医療と連携した、看取り目的の退院やレスパイト入院等の拡充</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	人生100年時代を迎えて、高齢者になってからの人生が長くなります。その長い期間に寄り添う医療体制を目指して、認知症医療・意思表示支援・在宅支援を特徴とした病床運営をしていく予定です。 元気な時から準備できるよう、認知症予防・早期受診を促すと共に、意思決定への支援や、認知症があっても正当な医療を受けられる環境作り、そして本人の意思をかなえる最終段階の医療提供を、切れ目なく実現するために病院全体で取り組みます。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 社団 田口会 新橋病院
所在地	群馬県館林市下三林町452番地
沿革	昭和62年 一般病床40床にて開院 昭和63年 一般病床62床へ増床 平成2年 一般病床118床へ増床 平成12年 一般病床70床・介護療養病床48床 平成15年 一般病床46床・介護療養病床88床 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	134 床	床	46 床	床	88 床	床
平均在院日数(※1)		日 44.4 日		日 798.6 日		
病床稼働率(※2)		% 74.7 %		% 73.9 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	46 床	床	46 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	2024年3月末までに慢性期88床を介護医療院へ転換予定。
-------------------	-------------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	科 (内科・循環器科・呼吸器科・胃腸科・外科・皮膚科・整形外科・泌尿器科・リハビリテーション科)
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能	初期診断及び慢性疾患の維持治療									



将来(2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能	初期診断及び慢性疾患の維持治療									

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	公立館林厚生病院	太田記念病院	足利赤十字病院
主な紹介先医療機関	公立館林厚生病院	太田記念病院	足利赤十字病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根差した医療を心掛けています。</li> <li>・併設の療養病床をはじめ、訪問看護ステーション、デイケア、居宅 介護支援事業所、地域包括支援センター等介護事業にも取り組んでいます。</li> </ul>
特徴的な 在宅透析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工透析医療を開設時より行っています。</li> <li>・現在、在宅透析にも対応出来るようになりました。</li> </ul>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者様が安心して療養出来る医療、介護を提供しています</li> <li>・地域のかかりつけ医として対応しています</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状維持を念頭に安定した医療を提供出来るよう心掛けています</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に、最高の医療を提供出来るよう取り組んでいます。地域の皆様に安心、信頼頂ける病院を目指しています。</li> </ul>



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	社会医療法人 社団 慶友会 慶友整形外科病院
所在地	群馬県館林市赤生田町2267番1
沿革	昭和54年 宇沢整形外科 開院 19床 昭和57年 宇沢整形外科病院に名称変更 ベッド数61床に増床 平成01年 慶友整形外科病院に名称変更 ベッド数100床に増床 平成07年 ベッド数109床に増床 平成14年 ベッド数129床に増床 令和01年 ベッド数137床に増床 新築移転

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	137 床	床	137 床	床	床	床
	平均在院日数	日	11.5 日	日	日	日
	病床稼働率	%	97.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	137 床	床	137 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	整形外科専門病院として対応を継続し、手術数においては今年度も4000件を上回ることが予測され、救急対応も断らない診療の実現を目指すため、在院日数の見直しやベッド回転率を考慮に入れた病床利用および地域との連携が重要課題となります。また、地域の整形外科領域におけるニーズに応えるため、可能であれば増床も視野に入れ、2025年に向けた病床計画を検討いたしております。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	6科 ( 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・外科・内科・麻酔科 )
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	太田記念病院	公立館林厚生病院	佐野厚生病院
主な紹介先医療機関	足利日赤病院	羽生総合病院	イムス太田中央総合病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  整形外科専門医療	<p>①整形外科に特化した診療を展開しています 常勤医師：整形外科医24名 麻酔科医4名 内科医1名 リハ専門医1名</p> <p>②令和2年度 手術数4039件 全身麻酔3774件、入院患者延べ数46201人</p> <p>③最先端の手術機器、レントゲン関連やMRI、CT装置を配置</p> <p>④137床 全室完全個室</p>
特徴的な  災害に強いハード	<p>①杭頭免染構造 震度7にも耐え、震度5でも手術可能</p> <p>②200mの地下水を専用水道として利用</p> <p>③自家発電機や地下水プラントが免震構造内に設置</p> <p>④隣接する1.8haの広場が緊急時に野営等に利用可能</p> <p>⑤水害対策のため1.8mの盛土</p> <p>⑥都市ガスは中圧管から直接配管</p>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>社会医療法人を昨年8月に取得しました。</p> <p>外来患者や入院患者は概ね受け入れられるキャパシティの限界に近くなってきておりますが、更に医師の増員や在院日数の短縮、病床回転率向上など喫緊の課題をクリアし、より地域のニーズに応えられるよう進めてまいります。</p> <p>今後は更に、整形外科病院として可能な限り一般外来患者、救急患者、手術対応、リハビリテーション事業における地域のニーズに答えて参ります。また、社会医療法人の立場として、今後どのような地域社会への貢献ができるのか、試案を重ねながら日々、努力を重ねてまいります。</p>
当院の未来像	<p>新病院が令和1年3月に完成移転し、入院部門中心（手術、入院、リハビリ）の医療を行っております。外来部門の中心である整形外科クリニックは老朽化が進んでいるため、病院施設の近隣に新築移転し、慶友外来センターとしてより総合的な整形外科医療を行い、日本の整形外科分野のリーディングとなる様、教育育成に励み、より安全な医療を地域に展開致します。また、健康寿命の延伸対応はもとより、災害時等における非常事態下においても、診療が継続できるようBCP策定を整え、関東広域への非常時サポートが可能となる様、検討を重ねます。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>整形外科に特化した最新の専門医療を、地域の皆様に支えていただきながら、42年間慶友会は「まごころ」を込めた診療を行ってまいりました。</p> <p>今後も引き続き、整形外科分野における「頼りになる医療」を目指し、必要な医療を適宜患者さんの立場に立ち、今後とも診療継続してまいります。</p> <p>より安全でより安心な、皆様に愛される医療施設として今後ともご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人六花会 館林記念病院
所在地	群馬県館林市台宿町7番18号
沿革	昭和39年9月 医療法人海宝会 海宝病院開設 昭和61年2月 医療法人海宝会 館林記念病院に名称変更 昭和63年4月 医療法人六花会 館林記念病院に名称変更 73床（一般病床 73床） 平成 8年3月 90床に増床（一般病床42床、療養病床48床） 平成13年3月 104床に増床（一般病床34床、医療療養病床32床、介護療養病床38床） その後、回復期リハ病床への転換、特殊疾患病床への転換、特殊疾患病床から療養病床への転換などあり。 令和3年11月現在、104床（一般病床34床、療養病床70床 内訳 急性期一般入院料:16床、地域包括ケア入院医療管理料:18床、回復期リハビリテーション病床:24床、療養病床入院料:46床）

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	104 床	0 床	16 床	42 床	46 床	床
平均在院日数(※1)	日	日	日	日	日	
病床稼働率(※2)	%	%	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	104 床	0 床	16 床	42 床	46 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域包括ケアシステムが実施されてゆく中で、肺炎や尿路感染症などの感染症や慢性疾患（心不全、糖尿病など）の急性増悪に対応できる急性期病床と回復期機能の病床、慢性期医療のための療養病床を実状に合った適切な組合せでの運営を考えている。そのため、病棟連携、病診連携、医療介護連携など近隣地域を含めた地域での連携深化と回復期・維持期（生活期）でのリハビリテーションの充実を図って行きたいと考えている。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	12 科（内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、外科、整形外科、精神科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科）
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、特定保健指導などの栄養食事指導				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、特定保健指導などの栄養食事指導				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	慶友整形外科病院	公立館林厚生病院	太田記念病院
主な紹介先医療機関	慶友整形外科病院	公立館林厚生病院	太田記念病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  リハビリテーション	急性期一般病棟でのリハビリ、回復期でのリハビリ（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床）と維持期・生活期でのリハビリ（療養病棟、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ）と、患者さまのそれぞれの病期で適切なリハビリテーションが提供できる体制を整備している。
特徴的な  地域連携（医⇄医、 医⇄介の連携）の体制	急性期病院や在宅医療を行っている病院・診療所、介護保険施設からの患者さまの受入れのための連携と、退院後在宅復帰に向けた患者さま支援と地域内連携。特に、情報共有ツール（メディカルケアステーション）などを使って互いに分かりやすく正しい情報を共有することで、患者さまに不利益とならない連携・情報共有をしている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者さまの全身管理を念頭におき、患者さまに寄り添った質の高い医療を提供している。</li> <li>・肺炎や尿路感染症などの感染症や慢性疾患（心不全、糖尿病など）の急性増悪に対応できる急性期病床と回復期機能の病床、慢性期医療のための療養病棟の組合せで、高度急性期、急性期からの受け入れだけでなく、在宅医療や介護保険施設などに入所中の患者さまの急性増悪にも対応できる医療を提供している。</li> <li>・急性期一般病棟でのリハビリ、回復期でのリハビリ（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床）と維持期・生活期でのリハビリ（療養病棟、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ）と、患者さまのそれぞれの病期で適切なリハビリテーションが提供できる体制を整備している。</li> <li>・急性期病院や在宅医療を行っている病院・診療所、介護保険施設からの患者さまの受入れのための連携と、退院後在宅復帰に向けた患者さま支援と地域連携が整備されている。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムが実施されてゆく中で、病病連携、病診連携、医療介護連携など近隣地域を含めた地域内での連携を深化させ、地域内で求められる医療が提供できるように目指す。</li> <li>・急性期、回復期、維持期（生活期）とそれぞれの病期で求められる適切なリハビリテーションが提供できるように目指す。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者さまの全身管理を念頭におき、患者さまに寄り添った質の高い医療を提供しています。</li> <li>・急性期一般病棟でのリハビリ、回復期でのリハビリ（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床）と維持期・生活期でのリハビリ（療養病棟、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ）と、患者さまのそれぞれの病期で適切なリハビリテーションが提供できる体制を整備しています。</li> <li>・病病連携、病診連携、医療介護連携など近隣地域を含めた地域内での連携を図り、患者さまに不利益とならない連携・情報共有を常に心掛けています。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団醫光会 おうら病院
所在地	群馬県邑楽郡邑楽町篠塚3233-1
沿革	平成12年6月 新邑楽病院設立 平成15年6月 医療法人社団醫光会 おうら病院設立（法人化） 平成21年6月 群馬アレルギー疾患・呼吸内科病院へ改名 平成25年10月 おうら病院へ改名

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	80 床	床	39 床	床	41 床	床
平均在院日数(※1)		18.0 日		200.0 日		
病床稼働率(※2)		63.0 %		98.0 %		

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	80 床	床	39 床	床	41 床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	急性期及び慢性期のケアミックス病院として、救急患者の受け入れ、高度急性期病院からの転院受け入れ、介護施設等からの高齢者の急患・入院受け入れ、在宅退院支援・復帰率の向上に向け、柔軟且つ迅速に対応できる病床運営に努めます。
---------------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	9 科（内科、糖尿病内科、循環器内科、人工透析内科、腎臓内科、呼吸器内科、 消化器内科、リウマチ科、リハビリテーション科）
------	--

現在	がん	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他	
	「その他」の 具体的な機能	人工透析						



将来 (2025年)	がん	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他	
	「その他」の 具体的な機能	人工透析						

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	館林厚生病院	太田記念病院	寺内医院
主な紹介先医療機関	館林厚生病院	太田記念病院	東邦病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 専門医療及び 高齢者医療	糖尿病、心臓病、慢性腎不全の疾患への医療と高齢者医療を通じて、地域ニーズに対応しております。糖尿病は病院長の専門科であり、高いレベルでの治療を行っており、心臓病は冠動脈ＣＴによる胸部症状の精査や心不全などの循環器疾患の加療に積極的に貢献できるよう、常勤医２名の体制を整えております。必要な時に迅速に質の高い入院診療を提供して、高齢者医療に努めております。
特徴的な 人工透析	現在、透析ベッド５８床、維持透析を行う患者様は１６０名程と地域でも最大規模の透析センターを有しており、透析導入から維持透析まで、慢性腎不全の患者様に対し、適切な診療を行う体制を整えております。無料での送迎も行っており、車椅子など介助を要する患者様にも対応しております。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	２次救急、糖尿病、心臓病、慢性腎不全の疾患への医療及び他医療機関や施設等との連携による高齢者の入院医療に努めております。当医療圏においては、救急告示医療機関が少なく、そのニーズに応えるべく２０２１年６月より指定を受けました。外来診療の機能分化を念頭に、専門的診療体制を整備し、病床回転率、質の高い入院診療と紹介・逆紹介率の向上に努めております。
当院の未来像	継続して専門的診療を行う体制整備に努め、高齢者医療に関する全分野の受け入れ、必要な時に迅速に入院することができる病床運営、在宅復帰へ向けたりハビリテーションの充実、これまで以上の救急の受け入れや高度急性期病院からの転院受け入れ、介護施設等からの高齢者の入院受け入れを充実させ、この地域における包括ケアシステムの中心的位置付けとなることで、超高齢化社会においても地域住民が安心・安全の生活を送ることができるよう、地域の病院としての責務を果たして参ります。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	地域から必要とされる病院、愛される病院を目指し、職員が日々研鑽し診療の質を向上させ、「おうら病院にかかって良かった」と皆様に思っていたくことができるよう、やさしさ・やすらぎ・生きがいに出会う医療を実践して参ります。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人徹裕会 蜂谷病院
所在地	群馬県邑楽郡大泉町朝日4-11-1
沿革	平成元年：一般病床74床にて開院 平成11年：一般病床37床 療養病床37床に変更 平成17年：一般病床26床 療養病床48床に変更 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	74 床	26 床	48 床			
	平均在院日数	14.0 日	331.4 日			
	病床稼働率	76.9 %	93.7 %			



将来 (2025年)	合計						廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期				
	74 床	26 床	48 床					

2025年に向けた病床活用の見通し	一般病床26床を現在より在院日数を減らし、質の高い医療を目指す 療養病床に関しては、現状を維持していく
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	科 ( 外科、内科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、胃腸科、肛門科、放射線科 )
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					


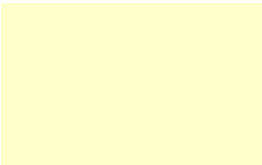


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	公立館林厚生病院	太田記念病院	足利日赤
主な紹介先医療機関	公立館林厚生病院	太田記念病院	獨協医科大学

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	高度急性医療病院との連携を密にし、総合診療的な外来医療を目指し患者の適切な病院を紹介し、逆紹介により急性期後のフォローをします。
特徴的な 	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	下肢静脈瘤手術、内痔核硬化療法、ヘルニア根治術、大腸ポリープ粘膜切除術など一般病床では、短期滞在手術に重点を置いております。療養病床では、医療区分の高い重症化している患者を、主に受け入れております。
当院の未来像	一般病床においては、当院で行える手術項目及び手術機材を充実し積極的に手術件数を増やしていく。療養病床においては、現行の医療体制を維持しつつ、よりいっそうの医療の質の向上を目指す。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	今後更に地域密着型の病院を目指し、小回りのきく医療と患者様の全健康管理を念頭に置き、早期発見に心掛け、在宅医療も充実させていきたいと考えております。



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人海宝会明和セントラル病院
所在地	群馬県邑楽郡明和町中谷331番地1
沿革	2021年11月1日、旧海宝病院（館林市堀工町）から明和メディカルセンタービル内に移転し、医療法人海宝会明和セントラル病院として開院。

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	39 床	床	床	15 床	24 床	床	床
	平均在院日数(※1)		日	14.8 日	34.5 日	日	日
	病床稼働率(※2)		%	70.1 %	66.7 %	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	39 床	床	床	15 床	24 床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	消化器系疾患の治療のための病床利用だけでなく、高齢者の内科系疾患の入院治療や圏域の急性期又は専門病院で対応外と判断されるも医療の必要性が認められるケースに対して地域包括ケア病床を積極的活用する。
---------------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	6 科（内科、外科、消化器内科、消化器外科、肛門外科、呼吸器内科）
------	-----------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児		その他
	「その他」の 具体的な機能	健診、人間ドックなどの予防医療の提供					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児		その他
	「その他」の 具体的な機能	健診、人間ドックなどの予防医療の提供を拡充					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	館林厚生病院	羽生総合病院	足利赤十字病院
主な紹介先医療機関	おうら病院	県立がんセンター	蜂谷病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 治療	内視鏡（上部、下部）
特徴的な 人間ドック	標準項目に胃カメラあり

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>明和町の関連事業として明和メディカルセンタービルに入居。現状の診療機能は旧海宝病院のまま引き継がれているが「明和」の町名を病院名に入れたことで、公益性や公共性をより意識した取り組みに対応すべく、診療内容やその質を高めることを目標としている。治療用に使用される一般床15床と介護等のレスパイトにも対応した地域包括ケア病床24床を柔軟に活用し、地域の他の急性期病院や専門病院と連携を図っている。看護師、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフを中心に多職種が協同し退院支援や在宅復帰支援に力を入れている。中心となる診療科目は消化器科だが、幅広いケースに対応していくことをポリシーとしている。外来には千葉大、自治医科大、獨協医科大などからの医師が診療にあたっている。</p>
当院の未来像	<p>町唯一の病院として、幅広いケースに柔軟に対応したい。周辺住民の健康を守るべく、同一建物内にある保健センターとも密に連携し「健康づくり」「予防医療」「治療」をワンストップで提供できる機能をもつ病院づくりを目指す。具体的に直近の取り組みとしては人間ドックや健診の対応可能件数を増やし、内容を充実させていく。また、周辺の企業の健診や産業医の対応も拡充していきたい。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>旧海宝病院（館林市堀工町）は明和セントラル病院として新たな船出を迎えました。まだまだ至らないところも多々あるかと思いますが、新たな地（明和町）で皆さまの健康を守るよう努力邁進してまいります。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団 伊藤産婦人科
所在地	群馬県太田市飯田町960
沿革	昭和32年開業。平成14年法人化。

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	13 床	床	13 床	床	床	床
	平均在院日数	日	5.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	60.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	13 床	床	床	13 床	床	床	床

2025年に 向けた 病床活用の 見通し	特になし。
-------------------------------	-------

## 3. 医療機能について

診療科目	科 (産婦人科)
------	----------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

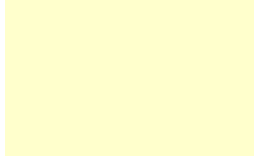
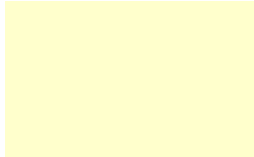


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	太田記念病院	桐生厚生総合病院	群馬県立小児医療センター

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	母乳外来、新生児蘇生、乳腺、母体救命
特徴的な 	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	産科が手いっぱい、市の子宮がん検診と乳がん検診を行っていない。
当院の未来像	スタッフと医師が充実していれば、当面は今まで通りである。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	患者さんにご家族に満足してもらえる医療を提供していきます。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 藤優会 藤井レディースクリニック
所在地	群馬県太田市東矢島町1184-1
沿革	平成17年：一般病床（急性期）15床にて開院 平成18年：医療法人藤優会となり、18床へ増床 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	18 床	床	18 床	床	床	床
	平均在院日数	日	7.5 日	日	日	日
	病床稼働率	%	63.5 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	18 床	床	18 床	床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	正常分娩後の患者様と帝王切開分娩後の患者様のための病床であり、常に病床活用の偏りが生じる。その為、将来入院してくるであろう患者様の数を想定し、その分の空床が必要となる。また、最も入院患者が多く偏ったとしても満床で留めなければならない。よって現在の病床活用のままで変わりはない。
---------------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	ときざわレディースクリニック	太田記念病院	たから女性クリニック
主な紹介先医療機関	太田記念病院	桐生厚生総合病院	群馬県立小児医療センター

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な チームワーク	医師の指示のもと、経験豊富なスタッフの連携により安全な医療を提供している。 またスタッフの勤務において、外来勤務、病棟勤務と固定せず、どちらの仕事も把握する事により、患者様への妊娠・出産・産褥までの一貫した対応が可能になっている。
特徴的な	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	周産期医療施設として、24時間365日、診療や手術に対応できる体制を整えている。昼間の勤務者数を8~9人、夜間の当直者数を2~3人確保することで、安全な医療を提供している。
当院の未来像	可能であれば産科医師の人数を増やし、より余裕のある医療を提供できるようにする。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>超音波検査での出生前診断の精度をより高めることで、胎児異常を早期発見し、母体と胎児の安全に寄与していきたいと考えています。</li> <li>常に安全な出産を心がけているとともに、「ここで出産して良かった」と言ってもらえるように全員が努力をしています。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	太田協立診療所
所在地	太田市石原町927
沿革	

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	日	日	日	
	病床稼働率(※2)	%	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
		床	床	床	床	床	19 床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	
---------------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	内科 ( )
------	--------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児		その他
	「その他」の具体的な機能							

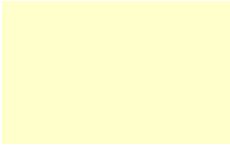
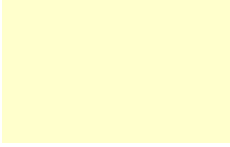


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児		その他
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 	
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	
当院の未来像	
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 社団 岩崎会 岩崎医院
所在地	群馬県太田市新井町206番地
沿革	昭和37年 現在の場所に産科診療所開設 平成19年 医療法人社団となり、現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	13 床	床	13 床	床	床	床
	平均在院日数	日	6.5 日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	13 床	床	床	13 床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	現在と同様、ローリスク妊娠の管理、分娩および産科手術のための病床として使用の予定。
---------------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	2 科 (産科、婦人科)
------	--------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	太田記念病院		
主な紹介先医療機関	太田記念病院		

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 分娩管理	リーズナブルで安全、快適な産前産後の入院生活となるよう、設備、食事の、スタッフ対応の充実に力を入れている。
特徴的な アメニティー	全室シャワー、トイレ完備の個室。iPadによる産後指導の提供、家族参加のお祝い膳などのサービス提供。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	小規模産科診療所として、ローリスク妊娠の管理、一般婦人科外来、婦人科がん検診などの診療を主としている。
当院の未来像	今後ますます分娩数の減少、高齢者の増加が予想されるが、可能な限り、最新で地域に密着した医療を継続していきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	産科診療所として、身近な医療を提供しつつ、安全、快適な分娩・入院となるよう、スタッフ一同全力で努力してゆきます。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 朋友会 岡田整形外科クリニック
所在地	群馬県館林市朝日町6-18
沿革	昭和54年 19床にて開院。 地域の為、一般整形外科及び救急医療を行ってきた。 平成14年 病床縮小 現在に至る。

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	2 床	床	床	床	床	床
	平均在院日数	日	0.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	0.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	2 床	床	床	床	床	床	2 床

2025年に向けた病床活用の見通し	長期入院は無く、日帰り手術の為に病床を活用してきたが、将来的には廃止する予定
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	1 科 ( 整形外科 )
------	--------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	日帰り手術の対応				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	日帰り手術の対応				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	慶友整形外科病院	佐野厚生総合病院	太田記念病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な □	リハビリテーション、リウマチ治療、スポーツ整形、一般整形外科対応を行っている。
特徴的な □	MR I、超音波診断に力を入れている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	一般整形外科及び外傷患者に対応している。
当院の未来像	一般整形外科及び外傷患者に対応する。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人社団 真中医院
所在地	群馬県館林市本町3丁目4番5号
沿革	昭和34年 真中医院病床数5床（急性期）で開設 昭和38年 病床12床（急性期）へ増床 昭和55年 病床数8床（急性期）へ減床 平成8年4月 新築により病床13床へ増床 平成16年3月 法人化し医療法人社団真中医院へ名称変更病床数13床（急性期）

## 2. 病床について

（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	13 床	床	13 床	床	床	床
	平均在院日数	日	5.2 日	日	日	日
	病床稼働率	%	69.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	13 床	床	13 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在の病床数で周産期医療の継続
-------------------	-----------------

## 3. 医療機能について

診療科目	産婦人科 内科 小児科	科（周産期医療）
------	-------------------	----------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	館林厚生病院	土井レディースクリニック	マリレディースクリニック
主な紹介先医療機関	佐野厚生総合病院	太田記念病院	獨協医科大学病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  連携病院との ネットワーク	周産期医療に特化する病棟 分娩に対応（帝王切開を含む） 産前・産後の産婦の疾患に対応 集約的医療の必要な対応不可能な疾患・病態等に関しては連携各病院への搬送がスムーズに行えるように連携体制を密にしている
特徴的な  院内でのチームワーク	助産師・看護師（准看護師）がそれぞれの役割を自認したうえで妊婦産婦への対応を行っている

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期医療に携わる施設として、24時間3体制で分娩や手術に対応した診療体制を行っている</li> <li>・妊婦産婦の変化に対して迅速な対応を行うよう考えての診療を行っている</li> </ul>
当院の未来像	これまでと同様な周産期医療の提供を行い、地域医療に貢献していきたい
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	周産期医療、さらには地域の患者様が必要とする医療を技術の提供していきます。 24時間診療という特性上、問い合わせ等の電話が多いが番号非通知のいたずら電話が非常に多い。地域の警察への報告をせざるを得ないようないたずら電話もある。今後番号非通知への対応を考えなければいけないが、受信者への利便性の問題などへの対応に苦慮する

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 土井レディースクリニック
所在地	館林市苗木町2599-128
沿革	平成6年：一般病床10床にて開院（婦人科、産科、内科） 平成8年：医療法人として10床許可される 平成11年：一般病床10室13床許可される 現在、分娩休止

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	13 床	床	床	床	床	13 床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	13 床	床	13 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域の医療需要を考え、いろいろ計画中である。
-------------------	------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	3 科（ 婦人科、産科、内科 ）
------	------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能	休床中				

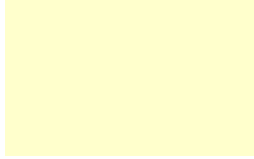
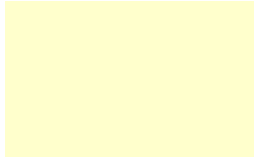


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能	未定				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	公立館林厚生病院	群馬県立がんセンター	羽生病院
主な紹介先医療機関	太田記念病院	公立館林厚生病院	佐野厚生病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	婦人科、内科 女性の一生をケアすること
特徴的な 	親切的な医療

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	現在、外来診療のみ行っています
当院の未来像	地域医療に貢献していきたい
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	ホームページを参考にしていきたい <a href="http://www.doi-ladies.com">http://www.doi-ladies.com</a>